

『トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会』

第4回 開催報告



第4回のテーマ

第4回水辺づくり座談会は、第3回までの座談会で得られた意見を踏まえ、『天王川自然再生計画(案)』と『天王川河口部再生形状(案)』について話し合いました。

実施の概要

開催日時：平成21年1月18日(土) 10:00~12:30

参加者：総勢47名(住民26名、学識者1名、関係機関7名、報道機関3名、事務局等10名)

座談会進行役：桑子敏雄(東京工業大学大学院 社会理工学研究科 教授)

座談会の内容

座談会は、下記の進行で実施しました。
これまでの座談会のおさらい
天王川自然再生計画(案)の議論
河口部再生形状(案)の議論(現地にて)
今後のスケジュール(案)の説明

座談会の様子



桑子先生の進行のもと、活発な意見交換により、天王川の水辺づくりはまた一歩前進しました。



治水も重要ですよ

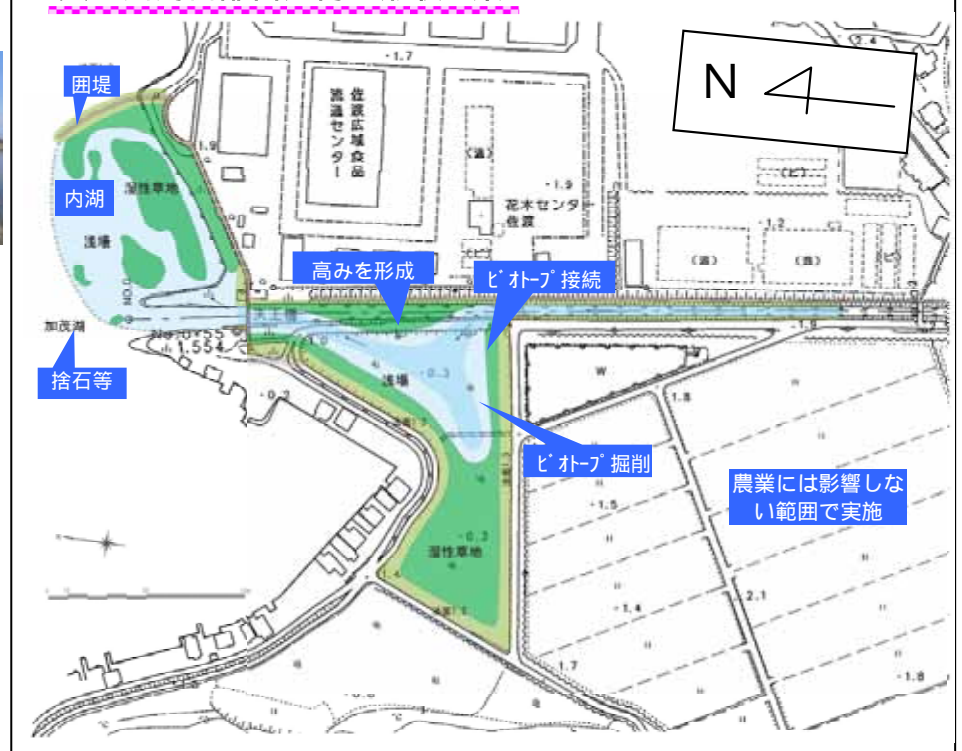
現地視察

天候に恵まれ天王川河口部をしっかりと確認することができました。



生物はいるかな~

天王川河口部自然再生形状A案



問い合わせ先

新潟県佐渡地域振興局地域整備部 担当 佐々木(計画調整課)

TEL: 0259-74-4040

FAX: 0259-74-2048

Email: sasaki.tadashi2@pref.niigata.lg.jp

みなさんの意見

天王川の水辺づくりに対するたくさんの意見をいただくことができました。洪水対策等、みんなで乗り越えなければならない課題が多くあることを改めて確認することができました。



項目	住民意見	座談会での回答		
治水・災害について	下流部の課題	歌滝川合流後の天王川は、治水安全度が低いです。平成10年洪水では、浸水被害を受けています。	洪水対策については、別の場で専門家に議論していただいています。来年度には、河川整備基本方針としてまとめたいと考えています。	新潟県
		下流部は流木等が橋に引っかかり、さらに洪水被害が増します。		
		下流集落の一番の心配事は、洪水被害です		
		平成10年の水害では河口部周辺の水田は全て水没しました。排水が悪いと思います。		
		圃場整備の実施により、周辺の地盤が高くなりました。家屋への浸水被害の増大が心配です。		
		河口部の計画を考えると、潮位を考えて。	当然考えます。	桑子先生
護岸崩壊	家の前の護岸がぐずれている。早くおして欲しい。	個別に対応したいと思います。後ほど詳細を教えてください。		新潟県
支川	支川の治水について考えているのでしょうか。	河川整備基本方針では、支川を含めた流量で検討を行っています。ただし、今回の事業の対象は天王川になります。		新潟県
自然再生計画(案)	河道計画	洪水対策を十分に考えて欲しい。	自然再生計画の中では、当然治水を考慮した計画を策定します。しかし、自然再生事業なので、治水対策として実施するには事業の限界があります。	新潟県
	河口部自然再生計画A案	A案では河口部に土砂が堆積し、洪水被害が助長されるように感じる。	洪水時の安全性に考慮した計画を策定します。	新潟県
		ピオトープが流木等のゴミだまりになってしまう。流木は加茂湖に流してしまった方がよい。加茂湖は定期的に湖底の掃除を実施しているので河口付近で貯める必要はないと思う。		
	現在、河口部に土砂が堆積しているため、濁りが沖に出ていけない。近傍のカキに悪影響を与えている。天王川の土砂は、加茂湖に広く流す方がカキにとってよい。			
今後の進め方	座談会		具体的な形状は専門家、住民、行政で議論をしますので、多くの意見をいただきたい。 天王川自然再生は、日本最先端の思想・技術でがんばっていきたく考えます。 治水も環境も大事なものです。いろいろな課題を克服するために、みんなで議論しましょう。 子供達にも川づくりに参加してもらえようようにしたい。 河口部を整備するときには、みんなで起工式を実施しましょう。	桑子先生
	アドバイザー会議		治水・環境にバランスした検討を進めたい。	新潟県
			アドバイザー会議では、座談会意見をしっかりと報告します。誰でも参加できる会議ですので、ぜひ参加してください。	桑子先生
広報について	これまでの座談会の内容をしらなかった。しっかりと広報して欲しい。	回覧や住民説明会を実施していますが、さらに充実したいと思います。また、みなさんも参加されていない方にもぜひ、お知らせするなど、ご協力いただきたいと思います。		新潟県
その他	困ったときに何処に相談したらよいのかわからない。	天王川の管理は新潟県です。		新潟県
		わかりやすい窓口分担一覧表をつくった方がいいですね。		桑子先生